

データベース運用における環境と作業の標準化の項目

効率良い正確な運用を行うためには、「以下の標準化」に取り組む

環境の標準化項目

- ・データベースのバージョン
- ・適用するパッチ
- ・ディレクトリ構成
- ・初期化パラメータ
- ・データベースや **Listener** の命名規則
- ・データベースの固有設定
 - データベースのキャラクタ設定
 - タイムゾーン

作業の標準化項目

- ・バックアップやログ・メンテナンスの作業を手順化する
 - 手順書の作成
 - バッチ・スクリプトの作成
- ・その作業が他の人でも出来るようにする
 - (「特定の1人限定しかできない」ということを避ける)
 - 作業手順書を作り、トレーニングを行う
- ・作業時のルールを作成する
 - ログを残す
 - 作業操作計画書を作成する
 - 日報などの報告書フォーマットを作成する
 - 作業記録を残す
- ・問題点や発見事項の情報の共有化のための意見交換の実施